

新入生に e スポーツの魅力伝え、部員を募る
松山学院高パソコン部 e スポーツ班



部活動で e スポーツ

県内初の取り組み

松山学院高

「学校で e スポーツ、やってみませんか？」。本年度、松山城南高校から校名変更した松山学院高校（松山市北久米町）で13日、eスポーツに取り組み部活動が本格スタートした。県 e スポーツ連合によると、県内の高校が正式な部活動の一環として e スポーツを扱うのは初めて。

パソコン部の e スポーツ班として始動。同部はこれまで、ビジネス文書検定などの資格取得に向けた活動をしてきたが、部員の「e スポーツに挑戦したい」という熱意を受け、パソコンメーカーの創部プログラムや、県 e スポーツ連合の支援を受けるとして準備を進めていた。

e スポーツ班の部員は現在5人。13日には新入生対象の体験会があり、部員らはアクションゲームのチーム戦などを用意して、訪れた一人一人に操作や進め方のコツを丁寧にレクチャー。「入部してみたい」との声が多数寄せられていた。顧問を約30年務めている杉本純一教諭(54)は「例年の体験会は数人程度。きょうは10人も集まった。若者の e スポーツへの注目の高さを感じる」と驚いた様子。3年の青木遼太郎長(17)は「やるからには結果を残し、e スポーツに対する世間の見方をより良くしたい」と、夏以降に開催される全国大会に照準を定めている。

(末光徹)